

委員会等会議録（調査・研究（視察））

令和元年 12 月 24 日

箱根町議会議長 様

総務企画観光常任委員会委員長

箱根町議会委員会条例第 26 条に規定する会議概要を作成したので報告します。

会議名	総務企画観光常任委員会		
開催日	令和元年 12 月 23 日（月）		
時間	午前 9 時 50 分～午前 11 時 30 分		
開催場所	箱根湿生花園		
出席者	議会	稲葉親太郎委員長、勝俣剛一副委員長、小川鶴雄委員、川端祥介委員、折橋尚道委員、石川栄委員（欠席：勝俣公好委員）	
	執行部	観光課長、産業施設係長、湿生花園園長、高橋氏	
	事務局	鴻田	
	傍聴者	公開・非公開の別：公開 傍聴者：沖津議員	
視察先	箱根湿生花園		
概要	<p>12 月 1 日から町直営となった箱根湿生花園の視察を行い、現時点での状況を把握するとともに、3 月末の開園に向けた準備や来年度の経費等について質疑を行った。</p> <p>主な質疑事項</p> <p>Q 園内を視察し、だいぶ荒れていると感じたが、4 年前のように元通りになるまでどの程度の時間を要するのか。</p> <p>A 4 年前の状態に戻すには 3 年程度要すると思う。今までの指定管理者と管理方法についての考え方が違うため、植物がかなりダメージを受けており、根本的な立て直しが必要と考えている。1 年目は十分な状態にならないとは思いますが、2 年目は人に見てもらえるような状態に、3 年目には人が見て来てよかったと喜んでもらえるような状態にしていくよう努力していく。</p> <p>Q 民間事業者へ指定管理をしたことが間違いではなかったのか。</p> <p>A 4 年前、観光協会が指定管理者に応募しなかった。指定管理が前提であったため、当時の町の判断はやむを得なかったと思う。</p> <p>Q 12 月定例会の町の答弁では、今回の指定管理者の残りの期間は町直営で行っていくが、その後は指定管理者をおくようなニュアンスにも受け取れたが、どう思うか。</p> <p>A 指定管理者が誰になるのかによって変わってくると思うが、植物関係の専門業者が指定管理者となるか、町直営で行うべきだと思っている。</p> <p>Q 12 月からの体制はどうなっているのか。</p> <p>A 常勤 8 名、アルバイト 9 名の計 17 名体制となっている。そのうち学芸員が 3</p>		

名いるが、1人勉強中のため、今後は4名となる見込みである。

Q 園内が荒れており、管理にも人手が必要と考えるが、17名体制で対応できるのか。大変な作業になると思うので、足りなければ町にきちんと話をした方が良い。

A 草取りや水路管理等、様々な現場作業があるため、新年度からは現場の職員を1~2名増員して欲しいと思っている。

Q 令和2年度の予算はどの程度を見ているのか。

A 査定前ではあるが、入館者数は10万人を見込み、人件費込みで6,000万円弱と考えている。

Q 入館料を安くして、手軽に入れるようにしたらどうか。(逆に、入館料を高くしたらどうかとの意見もあった。)

A 入館料はそのままとし、お客様に満足して帰ってもらえるよう、中身を充実させていきたい。

Q 湿生花園は広くて高齢者にとっては歩くのが困難なため、もう少し狭い範囲でまとめて展示することはできないのか。

A 土の湿り気の度合いによって植物の育ち方も種類も違い、ストーリー性をもって展示している。このような展示方法は、自然にマッチしていて、特殊な植物を見せることができていることから、環境を変えるのは難しい。

Q 国指定天然記念物箱根仙石原湿原植物群落のところまで歩いていけるようにすれば、誘客にもつながると思うがどう考えるか。

A 保護地区の中にあるため、実施にあたっては文化庁の許可が必要となる。実現できるかはわからないが、ネイチャートレイルを作ってみるのも良い考えだと思う。ただ、距離は結構ある。

Q 家族で来ても、足が不自由な方等と一緒に見て回れないので、休憩所等を充実させた方が良く考えるがどうか。

A お客さんからもそのような声があったことから、休憩所の設置等について考えていきたい。

Q 湿生花園は、観光施設がない仙石原に観光客を呼びのために建てられた施設であり、開園当時は山野草も人気があり、お客さんがすごく来た。現在は山野草の人気もなくなってきており、経営も難しいと思うが、どうか。

A 観光協会のカも借りながら誘客に力を入れていきたい。昔のように儲かる施設にするのは難しいと思うが、ある程度ペイできる施設にしたいと思っている。

Q いちごハウスはどうなるのか。

A 1月中旬までに撤去し、更地にしてもらうことになっている。

Q 第3駐車場は継続して借りていくのか。

A 12月から3月までは継続して借りることとした。現在、雪捨て場やすずき草原の駐車場としても利用していることから、4月からの契約については町と協議して決めていく。

意見 昔のように地元の人たちとタイアップして、盛り上げてほしい。

その他

委員長より、次回の委員会は災害関係の調査・研究を行っていく旨の報告があった。